

令和3年度 西崎特別支援学校 外部評価(学校評議員)

1～6の各項目について、いずれにか○印を記入し、評価して下さい。

対象者3名

回収率 100%

NO	評価領域	評価			感想・意見等	今後の学校の取り組み	
		不十分	←	→			十分
1	本校の教育目標 学校は教育方針をわかりやすく伝えている。				3	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の感染対策を考慮しつつも出来る事を検討し実践されていると思います。 ・学校の教育方針等がわかりやすく伝えられていることが図書で感じられた。 ・学校だより、HP及び校内掲示により教育目標と目指す方向性、基本方針及び重点目標を具体的に示すと共に必要に応じた改善に努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的に伝えるための対策、対応。(学校全体:学校だより、各部署からの頼り、情報誌の発行、年間行事計画の配布・マチコミメール、HPへの掲載、授業参観、保護者面談の実施、必要に応じた茶話会) (各学部:学級通信、お便り等の活用) (PTA総会、各評議委員会、役員会での周知)
2	本校の教育実践 学校は教育課題について適切に取り組んでいる。				3	<ul style="list-style-type: none"> ・適切に取り組んでいることが感じられた。 ・本年度の課題を分析・列挙するとともに具体的実践計画を明示し適切に取り組んでいる。特に職員全体にその問題点を提起すると共にその改善に努めている活動は十分評価できると思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各職員からの反省・評価、教育課程の反省、分析・各校務分掌からの課題を共有し、幼児児童生徒の個々の指導に繋げて行く。 ・職員の服務改善を図りつつ課題を共有し改善できる会議等を各部署で対応する。
3	本校の健康・安全 学校は健康・安全教育に取り組んでいる。				3	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍感染対策を施しながら児童生徒の健康と安全教育に取り組んでいることが伺える。 ・本年度もコロナ感染拡大防止を徹底し「保健だより」をはじめ学校、保護者、子ども達が一体となり学校全体の健康・安全に取り組んでいる。クラスター、学級閉鎖など一切無く、健全な環境を維持する学校運営を評価します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・担任、保護者と協働意識を高め、コミュニケーションのとれる場を設定し密な体制を整え、個々の発達の段階、障害の状態を日々の健康観察を互いに適切に把握し安全管理に努める。 ・安全係、保健係など主となる部署の年間行事計画等を有効に活用し各担当教師が子供達の実態に合わせて対応していく。 ・外部専門家を計画的に活用し教育実践につなげる。
4	本校の環境美化 学校は校舎内外の環境美化に取り組んでいる。				3	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で感染対策に努めながら学校を明るくするよう一人一鉢運動等を取り入れ環境美化に努めていることが感じられた。 ・学校正門の景観・美化は、子ども達が育てた花で常に良好な状態に保たれ通学する子ども達及び来校する皆さんを癒やしている。当然、校内の整理整頓も環境美化に繋がっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設設備、整理整頓を周知し、更に環境美化活動を計画的に進め指導に繋げて行く。 ・各教科の目標に環境教育を盛り込み横断的指導の展開を実施していき個々の情操教育の啓発に努めていく。 ・PTA活動と運動し緑化、地域清掃を進める
5	本校の進路指導 学校は適切な進路指導に取り組んでいる。				3	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍でも工夫しながら取り組んでいる事が伺えた。 ・コロナ禍のなか校長以下、学校全体で子ども達のため真摯な進路指導を行っている姿勢が十分に認められます。特に卒業予定者に対する進路指導は大変お疲れ様でした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別の教育支援計画をもとに個々の進路指導、キャリア形成に努めていける体制整備を図っていく。 ・進路指導係を中心に各担任、保護者と情報を共有し将来を見据えた進路指導を進めていく。 ・進路指導の移行支援も継続していく。
6	本校のPTAや地域との連携 学校はPTAや地域と連携し、円滑な学校運営に取り組んでいる。		1		2	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍のもとPTAの活動制限で、仕方ないと思います。 ・コロナ禍で感染対策を取り十分な活動は出来なかったが学校との連携は十分とれているように感じられた。 ・昨年同様、PTA活動及び地域との連携はコロナ禍のなかで活動制限があり期待した成果は得られずも引き続き保護者、学校、地域の連携強化に臨む事を確認できました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の経験を活かし、何が出来るかをPTA協働で進める。 ・PTA活動はコロナ禍、殆どが中止もしくは規模を縮小した活動内容になったが、次年度もコロナ禍を想定し学校と共同でその安心安全な環境づくりを計画的に進めていく。 ・次年度も感染対策、防災対策に重点を置き、地域に根ざした開かれた学校づくりを進めていく。